



## 2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社ロゼッタ

上場取引所 東

コード番号 6182 URL <https://www.rozetta.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ管理本部長 (氏名) 森 優之 TEL 03-5215-5678

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	2,933	42.5	405	125.9	403	124.8	236	83.3
2019年2月期第3四半期	2,058	38.5	179		179		129	

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 234百万円 (81.6%) 2019年2月期第3四半期 129百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	22.95	22.28
2019年2月期第3四半期	12.79	12.24

(注) 2019年2月期第3四半期の営業利益及び経常利益の対前年四半期増減率は、1,000%を超えるため「-」と記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,330	1,432	43.0
2019年2月期	2,642	1,194	45.1

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 1,432百万円 2019年2月期 1,191百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

現在当社では、MT事業が2018年2月期第4四半期より急成長期に入ったことから、経営方針を短期的利益ではなく中長期的成長の最大化に一点集中しております。今期から当面の間、MT事業の売上成長が落ち着く(目安として対前年比1.5倍)までは、業績予想は固定値として開示しないこととしております。業績予想数値に縛られて費用を加減調整することなく、時々々の機に応じて長期成長の目的のみに最も適合する選択に徹するためです。

なお、2020年2月期の連結業績予想は、最低額のみ開示で、過去最高売上(2,908百万円)以上、過去最高利益(営業利益338百万円)以上としてのみ公表いたします。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 2 社 (社名) 株式会社インターメディア、スピード翻訳株式会社

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	10,330,260 株	2019年2月期	10,296,260 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	422 株	2019年2月期	286 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	10,302,137 株	2019年2月期3Q	10,088,413 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	6
(1株当たり情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年3月1日~2019年11月30日)につきましては、引き続きMT事業において『T-400』の販売が好調でした。これに伴い営業部門から管理部門まで全社的に大幅な増員を行い、今後の急速な業容拡大に向けた組織体制強化に取り組みました。

結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,933,317千円(前年同期比42.5%増)、営業利益は405,690千円(同125.9%増)、経常利益は403,504千円(同124.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は236,463千円(同83.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## ①MT事業

MT事業におきましては、『T-400』の販売が引き続き好調に推移し、売上高は1,526,269千円(前年同期比160.4%増)となり、今後の急速な業容拡大に向けて営業部門から管理部門まで全体的に販売管理費も大幅に増加した結果、セグメント利益は185,760千円(前年同期比301.5%増)となりました。

## ②HT事業

HT事業におきましては、売上高は1,101,682千円(前年同期比8.5%減)となりましたが、製造経費と労務費の削減による売上原価の減少及びグループ全体の管理コストの負担割合の見直しによる販売管理費の減少の結果、セグメント利益は263,956千円(前年同期比44.8%増)となりました。

## ③クラウドソーシング事業

クラウドソーシング事業におきましては、売上高は305,365千円(前年同期比13.4%増)となりましたが、グループ内取引が減少した結果、セグメント損失は6,511千円(前年同期は44,511千円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,457,062千円となり、前連結会計年度末に比べ133,803千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が17,779千円増加、受取手形及び売掛金が22,466千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ553,457千円増加して1,873,050千円となりました。これは有形固定資産が277,919千円増加、無形固定資産が239,707千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,504,143千円となり、前連結会計年度末に比べ347,630千円増加いたしました。これは主に前受金が210,937千円増加、賞与引当金が41,090千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ101,627千円増加して393,798千円となりました。これは長期借入によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,432,170千円となり、前連結会計年度末に比べ238,004千円増加いたしました。これは利益剰余金が236,463千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在当社では、MT事業が2018年2月期第4四半期より急成長期に入ったことから、経営方針を短期的利益ではなく中長期的成長の最大化に一点集中しております。今期から当面の間、MT事業の売上成長が落ち着く(目安として対前年比1.5倍)までは、業績予想は固定値として開示しないこととしております。業績予想数値に縛られて費用を加減調整することなく、時々々の機に応じて長期成長の目的のみに最も適合する選択に徹するためです。

なお、2020年2月期の連結業績予想は、最低額のみ開示で、過去最高売上(2,908百万円)以上、過去最高利益(営業利益338百万円)以上としてのみ公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	853,378	871,158
受取手形及び売掛金	360,515	382,980
たな卸資産	51,237	30,701
その他	66,716	179,416
貸倒引当金	△8,589	△7,194
流動資産合計	1,323,258	1,457,062
固定資産		
有形固定資産	236,489	514,408
無形固定資産		
のれん	89,513	80,682
ソフトウェア	432,361	754,558
ソフトウェア仮勘定	423,287	349,646
その他	468	451
無形固定資産合計	945,631	1,185,339
投資その他の資産	137,471	173,302
固定資産合計	1,319,592	1,873,050
資産合計	2,642,850	3,330,112
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,961	87,375
1年内返済予定の長期借入金	231,601	230,222
未払法人税等	111,002	22,145
賞与引当金	26,577	67,668
前受金	440,309	651,246
その他	206,061	445,486
流動負債合計	1,156,513	1,504,143
固定負債		
長期借入金	292,171	393,798
固定負債合計	292,171	393,798
負債合計	1,448,684	1,897,941
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	250,794	253,565
資本剰余金	1,230,983	1,232,754
利益剰余金	△289,839	△53,376
自己株式	△435	△861
株主資本合計	1,191,502	1,432,081
新株予約権	458	89
非支配株主持分	2,206	—
純資産合計	1,194,166	1,432,170
負債純資産合計	2,642,850	3,330,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	2,058,739	2,933,317
売上原価	822,736	1,016,722
売上総利益	1,236,003	1,916,595
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	343,491	464,518
賞与引当金繰入額	44,910	35,499
その他	668,016	1,010,885
販売費及び一般管理費合計	1,056,417	1,510,904
営業利益	179,585	405,690
営業外収益		
受取利息	35	170
受取配当金	10	10
助成金収入	—	1,425
為替差益	371	—
その他	1,869	971
営業外収益合計	2,286	2,578
営業外費用		
支払利息	2,090	1,327
和解金	—	2,400
為替差損	—	97
その他	304	939
営業外費用合計	2,394	4,764
経常利益	179,477	403,504
特別利益		
固定資産売却益	801	—
保険解約返戻金	11,513	—
新株予約権戻入益	—	369
特別利益合計	12,315	369
特別損失		
固定資産除却損	3,149	38,487
特別損失合計	3,149	38,487
税金等調整前四半期純利益	188,643	365,386
法人税等	59,617	131,129
四半期純利益	129,025	234,257
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,025	236,463

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	129,025	234,257
四半期包括利益	129,025	234,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,025	236,463
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社グローヴァによる株式会社インターメディアの吸収合併及び、株式会社エニドアによるスピード翻訳株式会社の吸収合併を行いました。これにより株式会社インターメディア、スピード翻訳株式会社が消滅したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	HT事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	586,066	1,203,406	269,266	2,058,739	—	2,058,739
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,800	164,042	193,680	359,523	△359,523	—
計	587,866	1,367,449	462,947	2,418,263	△359,523	2,058,739
セグメント利益	46,262	182,333	44,511	273,106	△93,521	179,585

(注) 1. セグメント利益の調整額△93,521千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額、及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	HT事業	クラウド ソーシング 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,526,269	1,101,682	305,365	2,933,317	—	2,933,317
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	61,940	4,962	89,826	156,729	△156,729	—
計	1,588,210	1,106,644	395,192	3,090,047	△156,729	2,933,317
セグメント利益又は 損失(△)	185,760	263,956	△6,511	443,205	△37,514	405,690

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△37,514千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額、及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	12.79円	22.95円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	129,025	236,463
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	129,025	236,463
普通株式の期中平均株式数(株)	10,088,413	10,302,137
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	12.24円	22.28円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	455,950	313,258
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—